中央鐵工所工職要求

名古屋市外味鋺町に本店を有する大阪市外中本町字中道中央鐵工所の職工は十六日取締役工藤民四郎、綿貫氏に対し要求條項を提出したので會社側は協議の結果四柳氏は十七日朝出張打合せのため名古屋本店に急行した

同鐵工所側は職工側は百五十名中で目下本稼に従業しているもの二名で、尚は見極署では大々的取中で十八日正午同署へ出頭

窯業職工の値上要求（奉天十四日發）

奉天の邦人雷業會社にて

奉天に於ける邦人の窯業、大陸窯業、福昌窯業、大連耐火煉瓦窯業、奉天土管窯業、且和窯業各會社の職工は支那人職工は兩者日曜より賃金値上問題を提げ各々要求を出したが何ら不安の狀態なりしが十二日早朝より業如窯業は行き各場主任に對し強硬に煉瓦一萬個に對する賃金値上物三割下等一般の增給を要求したり日下各工場とも不穏氣のドン底に陥り困難なる際なれば頑底要求の要求を承認する能はずとて會社側は之を拒絶し日下中日工業共會が中間に立ちて調停中なり

煉瓦職工は一日の賃金二圓より六七十錢なり